

高市政権国民の負託を得る 地域から日本を元気に！

2月8日第51回衆議院議員総選挙が行われました。

この度の選挙において、比例区東海ブロックにて、皆様のご支援ご支持を賜り、**当選することができました**。国民の皆様への負託を得て、再び国政の場に立たせていただくことに、その責任の重さに身が引き締まる思いです。

国民の皆さまの思いに結果でお返しする覚悟で、全力で取り組んでまいります。

この1年3ヶ月、早朝の駅頭や街頭などで、本当に多くの皆様と出会い、直接多くの声を聞くことができました。またこの山本左近ニュースも毎週発行すると決めて書き続けてきました。今号は、新たな一步を踏み出す節目の号です。改めて**なぜ再び国政で働きたいと決意したのか**、その想いをお伝えさせていただきます。

私の原点は、やはり世界を舞台に戦ったF1レーサー時代にあります。

言葉も文化も違う環境の中で競い合う日々。そこで身につけた国際感覚と現場で鍛えられた判断力は、これから一層難しさを増す外交・安全保障の時代に、

必ず生きると確信しています。

また、F1は、まさに科学技術の結晶です。空力、素材、エネルギー、データ解析など、すべてが最先端です。その経験から、**国の成長の鍵は「科学技術への投資」**にあると実感してきました。高市早苗総理が掲げる責任ある積極財政の要は、未来を切り拓く研究開発とイノベーションへの集中投資です。

衆議院議員としては、文部科学大臣政務官として最先端研究施設の整備に携わるとともに、水素とCO2からつくる合成燃料の国内実証を実現するなど、脱炭素とエネルギー安全保障の両立に取り組んできました。

F1の世界で培った科学技術への理解と、国際的な視点を併せ持つからこそ進められる政策があります。

私は日本の競争力をもう一度引き上げたい。合成燃料の推進をはじめ、「私にしかできない仕事」をひとつひとつ形にし、必ず成果につなげていきます。

そして何より、豊橋・田原から日本を元気にする。その思いは一貫しています。街に立ち続けた1年3ヶ月、私は多くの声を受け取りました。

物価高への不安、将来への漠然とした焦り、子育てや教育の負担、地域の活力の低下など取り組むべき課題は多くあります。ただこの地には、世界に誇れる農業とものづくり、三河港をはじめとする物流拠点。日本再生のエンジンとなる力があります。

道路や港湾などのインフラ整備、防災・国土強靱化、スマート農業の推進、医療・介護分野のDXなど、地域の声を国政に直結させ、暮らしと産業を同時に強くする政策を、スピード感をもって前に進めていきます。

世界で戦った経験を、今度は日本のために使いたい。科学技術力で勝ち、地域から成長を生み出し、次の世代に誇れる日本を残したい。

地元の皆さんとともに、日本の底力をもう一度引き出してまいります。

引き続き、皆さまのお力添えを心よりお願い申し上げます。

山本左近の活動はこちら



H.P. YouTube Twitter Facebook Instagram



《やまもと・さこん》

愛知県豊橋市出身。1982年7月9日生まれ。43歳。豊橋南高校卒業、南山大学。11歳、レーシングキャリアスタート。19歳、単身渡欧。24歳、当時日本人最年少F1ドライバーデビュー。30歳、帰国後、医療介護福祉の世界に。医療法人・社会福祉法人さわらびグループの統括本部長就任。2019年第25回参議院議員通常選挙（比例代表）に自民党公認で立候補し、落選。2021年第49回衆議院議員総選挙（東海ブロック比例代表）に自民党公認で立候補し初当選。当選直後から、合成燃料の国産化の必要性を訴え、3年以内に日本初の実証プラントの稼働を実現した。また、2022年8月、初当選後一年に満たない中、文部科学大臣政務官兼復興大臣政務官に異例の抜擢。科学技術・文化の担務を中心に活躍。2024年第50回衆議院議員総選挙にて落選。2026年第51回衆議院議員総選挙にて2期目の当選。英語、スペイン語を話すマルチリンガル。

衆議院議員

山本左近

自民党 316議席を獲得



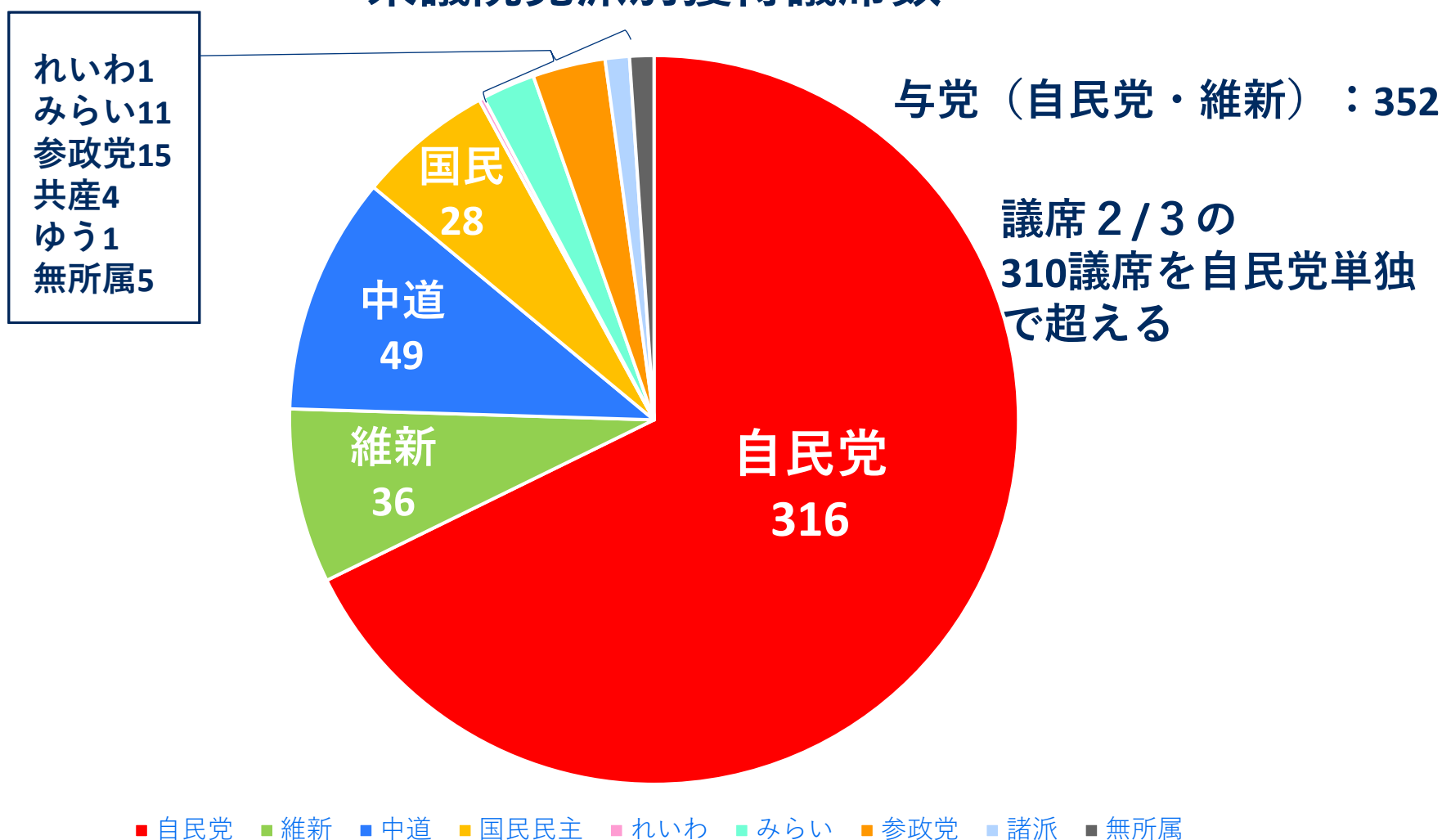
自民党単独で2/3議席を超える316議席を獲得。歴史的勝利の結果となりました。

国民の皆様の信任をいただいた高市総理のもとで、今の生活を支える物価高対策を進めます。

また、責任ある積極財政をもとに成長戦略・危機管理投資や、日本を守る政策を力強く進め、地元から成長を生み出し、日本列島をさらに強く豊かに。

高市総理を支える一員として、現地現場主義を大切に、皆様の思いに結果でお返しする覚悟で、責任感と緊張感を持って全力で取り組んで参ります。

衆議院党派別獲得議席数



就任から3ヶ月の高市内閣の取り組みと実績



JAPAN as No.1 Again!

日本を再び世界一の国へ